

◆編集・発行

茨城県茨城郡茨城町小堤1080
〒311-3192
☎ 029-292-1111
メールアドレス
ibarakit@town.ibaraki.lg.jp

◆人口

住民基本台帳
平成31年1月末現在
男 16,367人
女 16,282人
総人口 32,649人
世帯数 13,062世帯

◆茨城町民憲章

- 1 ふるさとの自然を守り、美しい環境の町をつくりましょう。
- 1 からだをきたえ、教養を高めて、すこやかな町をつくりましょう。
- 1 隣人や家庭の愛を大切に、まごころのかよい合う町をつくりましょう。
- 1 自分の仕事に責任と誇りを持ち、活気に満ちた町をつくりましょう。
- 1 文化遺産を愛護し、先人の努力に感謝できる町をつくりましょう。

◆町の情報発信中!!



●町公式ホームページ

<http://www.town.ibaraki.lg.jp/>



●町公式ツイッター

<https://twitter.com/IbarakiTownMati/>



●町公式インスタグラム

https://www.instagram.com/townibaraki_official/



里山に育む生きものたち

No.79 ホオノキ

(モクレン目 モクレン科)

学名 *Magnolia obovata* Thunb.

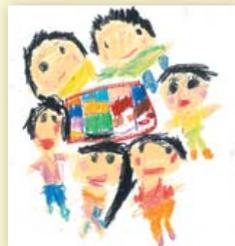
写真・文 安 昌美

▼ホオノキとは
モクレン属に含まれる落葉高木で、高さ30m、幹の直径は1m以上に達するとされます。南千島・北海道・本州・四国・九州の温帯から暖帯上部に分布します。県内でも山地部から平地部に見られますが、林に点在し、群生はしません。冬の落葉樹林では大きな落ち葉から付近にあることが分かり、周りをみて、幹の色が白っぽく、枝が太い点でホオノキを確認できます。

▼ホオノキの花
花期は5〜6月とされ、写真は5月7日の水戸市森林公園のもので、ホオノキの花は枝先の蕾の中に葉と一緒にあり、葉が広がって2週間後くらいに開花するそうです。モクレン科は被子植物では原始的なグループで、雌しべと雄しべが軸にらせん状に着いており、先端部には雌しべが集まり、下部には雄しべが集まっています。雄しべでも葯と花糸などの区分もはっきりしていません。

開花1日目は雌しべだけが機能する雌性期です。雌花みたくもなります。しかし、2日目にはもう雌しべは機能せず、雄しべが機能する雄性期になります。ですから同花の受粉はありません。一つの花の受粉・送粉機能は2日間しかありません。強い香りで虫を集めています。実は1日目の夕方には花は閉じて、2日目には再び開きます。写真はがくが開いて下部にたれ下がっているもので、1日目の閉じたものと思われる。撮影時刻は午後4時です。朝は何時に開くのでしょうか。雨の日には開かないそうです。町内でも実生からの小さなものに出会うので、開花・結実が起こっています。晴れた日に観察できる場所を見つけてほしいものです。

ちびっ子アート いばらき中央認定こども園



「お正月の思い出」
おぬき みお (5歳)



「お正月の思い出」
ほし りおな (5歳)